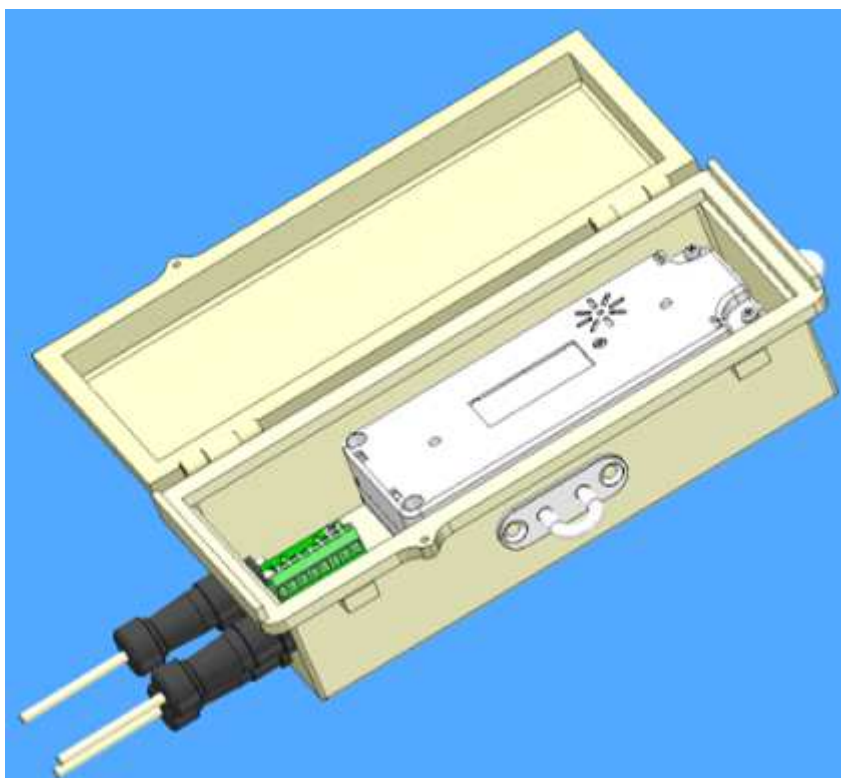


内部温度計測ユニット (オンドミール) 取扱説明書



第3.1版

2021年5月22日

Innovation and Trust

JUST.WILL

はじめに

- ◇ 本マニュアルは、内部温度計測ユニット(オンドミール)の取扱手順書として作成されたものです。
- ◇ 本書をよくお読みのうえ、正しく安全にかつ適切な作業を行なうよう心がけてください。
また、お読みになった後も大切に保管して下さい。
- ◇ ご使用の際は、別冊の「SSリーダ取扱説明書 - オンドミール対応(アプリケーション編)」と併せてご活用下さい。

免責事項

- 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- 本書は万全を期して作成しておりますが、万が一、誤りなどありましたらご指摘下さい。
- 地震、雷、風水害、その他天変地異などの自然災害に伴う災害に起因する損害、故障に関して当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承下さい。
- 火災等の事故、第三者、もしくはお客様の故意、過失、誤使用、その他異常な条件下での使用に起因する損害に関して当社では責任を負いかねますのでご了承下さい。
- 本システムは精密電子機器のため、使用方法、使用環境によっては故障する可能性があります。
- 本システムの故障によるデータの異常、あるいは使用不能などに起因する、損害、散逸利益などにおきまして当社では責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本システムを使用したことに起因する、付随的な損害(情報の変化、消失、事業利益の損失、事業の中断など)に関して、当社では責任を負いかねますのでご了承下さい。
- 本システムが算出するコンクリート強度は標準的な状態を基準としています。異なった配合比のコンクリートや添加物、外的環境要因などによる出力結果の誤りに起因するあらゆる損害(建造物の強度不足、時期尚早な脱型など)に対し、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承下さい。
- 内部温度計測ユニットの電源は電池を使用しておりますので、気温などの外部環境の変動や頻繁なSSリーダの使用など、条件によって電池寿命は大きく変動します。
また、本機の仕様は将来予告なしに変更することがあります。あらかじめご了承ください。



取り扱い上の注意

- 本機は精密電子部品で構成されていますので、放り投げるなど乱暴な取扱いは止めてください。
- 本機は一般用途向け電子部品を使用して構成されています。人体、人命に関わるおそれのあるところや、軍事、航空、宇宙目的に関連する分野での使用はしないでください。
- 本機の分解、解析などリバースエンジニアリングを禁止します。
- 本機を火中に投入しないで下さい。本機の筐体は樹脂で出来ており可燃性です。また電池の破損、破裂による怪我や火災のおそれがあります。
- 本機は電池を使用しています。万一、液漏れなどありましたら絶対に素手で触らないでください。
- 本機の電池は1次電池です。充電することは出来ません。
- 本機は2.4GHz帯の無線を使用しています。電子レンジや無線LAN、bluetoothを使用する機器、その他強い電波を発生する機器のそばでは通信を阻害されるおそれがあります。できる限り混信や妨害のおそれのない場所で使用してください。
- 本機を極端な温度環境下(-10℃以下、60℃以上)では使用しないでください。
- 本機は一定の防水機能をもっていますが、水圧に耐えられる物ではありません。水中での使用や水没する環境下での使用はおやめください。
- 本機に海水などの淡水以外の水や有機溶剤などの液体がかからないようにして使用してください。筐体の劣化、破損が発生するおそれがあります。
- 本機を IH 調理器などの強い磁界を発生する機器のそばに近づけないでください。破損や火災のおそれがあります。



分解・改造の禁止

◇本機は日本国内の電波法に基づいて、総務大臣より技術基準適合認証をうけた無線機器です。
本体を分解、改造をすることは電波法違反となりますので絶対に行わないで下さい。



注意事項

- 本機は電波法に基づく工事設計認証を取得した小電力データ通信システムです。
- 本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。
- 本機に表示されている以下の記号は、本機が2.4GHz全帯域(2.4GHz～2.4835GHz)を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域(2.427GHz～2.47075Hz)が回避可能であり、変調方式としてDS-SS方式を採用し、与干渉距離は30mであることを示しています。

2.4DS3

- 2.4GHzの周波数帯を利用している無線LAN コードレスフォンBluetooth対応機器、ワイヤレス対応AV機器、ワイヤレスコントローラーや電子レンジを使用する環境で使用すると電波干渉によりデータ通信が影響を受ける場合があります。
- 本機の使用周波数帯(2.4GHz)では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)、特定小電力無線局(免許を要しない無線局)、およびアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。
 - 1) 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局およびアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
 - 2) 万が一本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上で、下記連絡先にご連絡頂き、混信回避のための処置(例えば、パーティションの設置など)について相談してください。
 - 3) 本機から移動体識別用の特定小電力無線局またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときには、次の連絡先へお問い合わせください。

連絡先:092-401-1424

注意

- 本機は、総務省の技術基準に適合しています。
- 本機に付されている表示は、その証明マークです。



- 表示マークの付された製品を総務大臣の許可無しに改造して使用することはできません。改造すると法律により罰せられます。

【 目次 】

1. 本体説明	7
---------------	---

1. 本体説明

本体(外観)



本体(内部)



熱電対



測温部

防水コネクタ



本体(防水コネクタ接続部)



本体(熱電対取付け後)



防水コネクタ(先端)



※凹凸があります

カップリングナット

※熱電対ごとに着色されています
(白, 黄, 赤, 青)

熱電対の取付け

熱電対の防水コネクタを本体(防水コネクタ接続部)に接続してください。

[注意]

- ・ コネクタの色(白, 黄, 赤, 青)を合わせてください。
- ・ 防水コネクタには凹凸があります。凹凸を合わせて差し込んでください。
- ・ 差込んだらカップリングナットが回らなくなるまで締めこんでください。

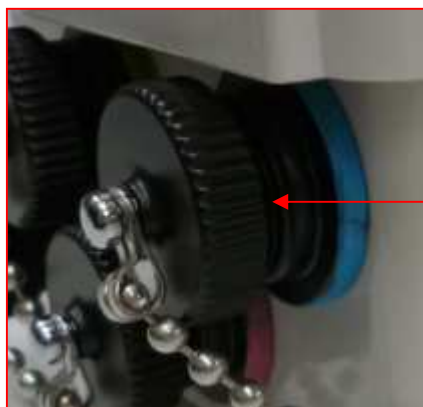
熱電対の取扱注意点

- ・測温部(熱電対先端)は温度を計測する部位です。
設置, 取り扱いには十分注意してください。(衝撃などを与えないでください。)
- ・熱電対ケーブルを折り曲げないでください。(断線の原因になります。)
- ・熱電対ケーブルを扉やブロックに挟みこんだり、ブロックを落としたり
しないでください。(断線の原因になります。)
- ・熱電対ケーブルを引っ張らないでください。(断線の原因になります。)

本体の取扱注意点

- ・本体は精密機器です。
設置, 取り扱いには十分注意してください。(衝撃などを与えないでください。)
また、高温になる場所に設置しないでください。
- ・熱電対を未接続の箇所は防水キャップを取り付けてください。※写真下記
(本体故障の原因になります。)

本体(防水キャップ取付け時)



防水キャップ

－ 変更履歴 －

版	日付	内容
1.0	2015.2.21	新規作成
2.0	2016.7.15	問い合わせ先追加変更
3.0	2021.1.5	「はじめに」の不要箇所を削除 起動操作以降の記載を削除
3.1	2021.5.22	社名変更



【問い合わせ】

株式会社JUST.WILL

〒810-0022 福岡県福岡市中央区薬院2-2-24-2F

Tel:092-401-1424 Fax:092-401-1425